



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2911 URL <https://www.asahimatsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,138	△1.8	182	△4.6	252	4.2	190	△4.8
2024年3月期第3四半期	6,253	1.6	191	—	242	313.6	200	550.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 219百万円(△37.0%) 2024年3月期第3四半期 348百万円(179.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	103.44	—
2024年3月期第3四半期	108.99	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,594	8,164	76.4
2024年3月期	9,939	7,972	79.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 8,096百万円 2024年3月期 7,907百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	2.5	240	16.9	320	11.2	240	3.1	129.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,876,588株	2024年3月期	1,876,588株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	27,957株	2024年3月期	33,509株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	1,845,870株	2024年3月期3Q	1,840,241株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善による個人消費の期待など緩やかな回復基調がみられた一方、継続する円安によりエネルギー・原材料価格は高止まっております。また、長期化するウクライナや中東での紛争に加え、中国経済の先行き懸念、米国の政策動向といった海外景気の下振れリスクや為替変動の影響などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、輸入原材料等の調達コストの増大や物流費、人件費などの上昇の影響から、価格改定へ舵を切る企業が相次ぎ、消費者の節約志向は今まで以上に高まっております。また、食品に対する安全・安心への要求は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも継続して増大しております。

このような状況のなか、当社グループでも製造原価の上昇は避けて通ることはできず、収益面への影響は深刻な状況が続いており、企業努力では吸収しきれないコスト増への対応のため価格改定を余儀なくされております。品質面では、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000のバージョンアップなど、一層の向上を図っております。また、合理化、省エネルギー、脱炭素、品質向上のため継続的かつ積極的に設備投資を行うとともに、SDGsに沿った取り組みを引き続き推進しております。本年度におきましても、主力の天竜工場や高森工場において太陽光発電設備の増設投資を実施しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、価格改定に伴う消費者の購買意欲の減退などの影響により、売上高は、61億3千8百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。利益面では、引き続き製造コストの低減や経費の削減などを図ってまいりましたが、依然として原材料や物流費、人件費などのコスト増加や減収の影響を受けており、営業利益は1億8千2百万円（同4.6%減）、経常利益は2億5千2百万円（同4.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千万円（同4.8%減）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

#### [凍豆腐]

凍豆腐では、市場の拡大・活性化を図るべく業界団体と協調し、凍豆腐に特に多く含まれるレジスタントプロテインの効果・効能を訴求するPR活動などを行ってまいりました。また、かねてよりオランダフードバレーに参画し欧米市場への展開を進めており、一般社団法人長野欧州貿易支援機構が主催するフランス・パリの日本銘産品アンテナショップ「GOËN」（ごえん）に当社の高野豆腐関連商品がラインアップされ、パリオリンピックの開催とも重なり広く周知する機会を得ております。これら取り組みが評価され、農林水産省 近畿農政局 第2回『関西 食の「わ」プログラム』に認定されました。その他、帯広市川西農業協同組合と業務提携を行い、北海道十勝産大豆を100%使用した凍豆腐の開発、発売を行っております。さらには、当社のブランドである「新あさひ豆腐」が公益社団法人学校給食物資開発流通研究協会の開発テーマである学校給食環境、児童・生徒の嗜好の多様化に配慮し「おいしく安全・楽しく食育」にふさわしい優良食品であるとして、令和7年度新規推奨品に選定されました。しかしながら、価格改定などの影響から販売数量が減少し、売上高は27億5千8百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。

#### [加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、継続して単品収益管理の徹底により収益力の改善を図るため商品の改廃を進めております。前期末に発売のZ世代女性をターゲットに当社製造の微粉碎おからパウダーを使用した食物繊維たっぷりのおからスープ「韓・GREEN（ハン・グリー）」などカップスープ商品での上乘せを図りました。また、継続してきた単品収益管理の効果や価格改定の浸透も徐々にあらわれており、売上高は18億1百万円（同1.5%増）となりました。

#### [その他食料品]

その他食料品では、医療用食材などは順調に推移しておりますが他部門が振るわず、売上高は15億7千8百万円（同1.4%減）と減少いたしました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べ6億5千4百万円増加し105億9千4百万円(前連結会計年度比6.6%増)となりました。これは、現金及び預金の増加1億4千1百万円や最需要期での販売増による受取手形及び売掛金の増加3億9千9百万円があったことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ4億6千2百万円増加し24億2千9百万円(同23.5%増)となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加1億1百万円や短期借入金の増加3億1千1百万円、長期借入金の増加8千6百万円が主な要因です。

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ1億9千2百万円増加し81億6千4百万円(同2.4%増)となりました。これは利益剰余金の増加1億4千4百万円やその他有価証券評価差額金の増加1千万円、為替換算調整勘定の増加1千4百万円などがあったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ3.2ポイント減少し76.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,069,595	2,211,282
受取手形及び売掛金	1,432,570	1,831,789
棚卸資産	1,264,911	1,450,062
その他	63,815	75,051
貸倒引当金	△4,680	△4,686
流動資産合計	4,826,211	5,563,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,031,312	6,062,614
減価償却累計額	△4,984,139	△5,060,917
建物及び構築物（純額）	1,047,173	1,001,696
機械装置及び運搬具	7,316,484	7,352,905
減価償却累計額	△6,127,898	△6,213,138
機械装置及び運搬具（純額）	1,188,586	1,139,767
土地	1,703,573	1,703,573
リース資産	214,930	202,640
減価償却累計額	△154,633	△143,049
リース資産（純額）	60,296	59,590
建設仮勘定	11,577	35,332
その他	484,173	483,336
減価償却累計額	△408,873	△408,501
その他（純額）	75,300	74,835
有形固定資産合計	4,086,507	4,014,796
無形固定資産	162,293	147,746
投資その他の資産		
投資有価証券	814,676	827,819
繰延税金資産	3,478	1,788
その他	46,505	38,371
投資その他の資産合計	864,660	867,980
固定資産合計	5,113,461	5,030,523
資産合計	9,939,673	10,594,022

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	529,340	630,436
短期借入金	222,580	534,278
リース債務	23,141	28,748
未払金	212,304	247,047
未払法人税等	81,617	17,235
賞与引当金	63,543	31,734
設備関係支払手形	39,299	64,870
その他	203,030	192,050
流動負債合計	1,374,857	1,746,402
固定負債		
長期借入金	391,458	478,078
リース債務	43,565	37,885
長期未払金	34,590	31,850
繰延税金負債	66,874	79,234
資産除去債務	48,869	48,896
その他	6,700	6,700
固定負債合計	592,057	682,645
負債合計	1,966,914	2,429,047
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,633,518
利益剰余金	4,333,084	4,477,953
自己株式	△78,766	△60,858
株主資本合計	7,504,586	7,668,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230,668	241,561
為替換算調整勘定	172,063	186,088
その他の包括利益累計額合計	402,731	427,649
非支配株主持分	65,440	68,867
純資産合計	7,972,758	8,164,975
負債純資産合計	9,939,673	10,594,022

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	6,253,983	6,138,581
売上原価	4,497,728	4,374,532
売上総利益	1,756,254	1,764,049
販売費及び一般管理費	1,564,750	1,581,430
営業利益	191,504	182,618
営業外収益		
受取利息	5,310	4,281
受取配当金	16,661	20,778
受取賃貸料	3,704	3,403
受取保険金	12	979
受取技術料	23,551	37,566
補助金収入	1,781	1,880
雑収入	6,671	8,006
営業外収益合計	57,695	76,894
営業外費用		
支払利息	2,681	3,303
賃貸収入原価	3,183	2,527
雑損失	1,092	1,352
営業外費用合計	6,957	7,184
経常利益	242,242	252,329
特別利益		
固定資産売却益	964	5,126
投資有価証券売却益	3,036	-
特別利益合計	4,001	5,126
特別損失		
固定資産除却損	2,415	6,328
特別損失合計	2,415	6,328
税金等調整前四半期純利益	243,827	251,127
法人税、住民税及び事業税	50,371	45,890
法人税等調整額	△9,534	12,421
法人税等合計	40,837	58,312
四半期純利益	202,990	192,815
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,427	1,869
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,562	190,945



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	202,990	192,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,548	10,892
為替換算調整勘定	50,511	15,583
その他の包括利益合計	145,060	26,476
四半期包括利益	348,050	219,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	340,571	215,864
非支配株主に係る四半期包括利益	7,478	3,427

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	363,749千円	352,671千円